島大付属にボードゲームクラブ

協力の楽しさ難しさ学ぶ

児童20人 各国の作品に挑戦

池田典彦店長の解説を聞きながらゲームを楽しむ児童

他人と協力する楽しさや難しさを学んでもらおうと、島根大付属義務教育学校（松江市大輪町）が、ボードゲームを教育に活用するユニークな取り組みを始めた。希望する児童が参加する「ボードゲームクラブ」を立ち上げ、さまざまなゲームに挑戦して奥深さに触れている。（中島諒）

クラブはボードゲームが好きな同校の吉木勇気教諭(32)が教材への活用を思い付き、専門店「ホワイエピッコリーノ」（同市大草町）の池田典彦店長(47)に講師を依頼して創立した。新型コロナウイルスの影響から、今春に予定した本格始動は9月にずれこんだものの、月1回の頻度で池田店長が世界各国のボードゲームからよりすぐった作品を持って来校し、毎回、4～6年の児童約20人が参加する。

吉木教諭は「ルールを守る大切さや仲間作りを学ぶ上でボードゲームは格好の教材になる」と強調。男女や学年を問わず対等に挑める点や、思考力と判断力の育成につながるメリットがあるという。

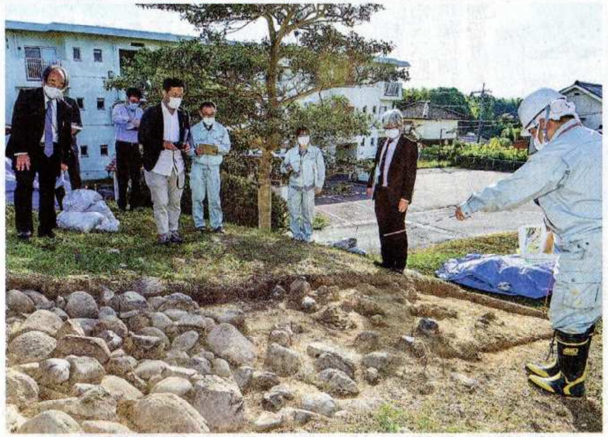
20日は1対1で互いに質問をぶつけ合い、相手の5枚のタイルに書かれた色と数字を当てる論理パズル「たぎる論理」に挑んだ。児童たちは、池田店長からルールの解説を受けて質問が書かれた札を示し、相手の手持ちを探り合った。

6年の曳野聡太君(12)は「初めて聞いたゲームだけど、他学年の子とも遊べて楽しかった」と喜んだ。

前方と後円一体性 精査を

スクモ塚古墳 専門家5人が指摘

益田


発掘調査の状況を確認する和田晴吾名誉教授（左端）ら

円墳とされているスクモ塚古墳（益田市久城町、国史跡）を立命館大の和田晴吾名誉教授(72)ら考古学研究者5人が19、20の両日、現地視察した。前方後円墳の可能性に関し、前方と後円がつながる部分の追加調査が必要との認識を示した。築造時期も早まる可能性があると指摘した。

スクモ塚古墳は1941年、祭祀（さいし）を行う方形の「造り出し」が備え付けられた5世紀築造の円墳（全長59㍍）として国史跡に指定された。

当時は造り出しとされていたものの、北側の方墳状の丘を含めて全長96㍍の前方後円墳の可能性があるとみて、益田市教育委員会が2016年度から6カ年計画で墳形、築造年代確定のための調査を進めている。

現地で20日に会見した和田名誉教授は「盛り土した層の形状から前方部と後円部の造成が一体的に行われたとみられる」と強調。「21年度に前方と後円がつながる部分でトレンチ調査し、一体性をさらに精査する必要がある」と述べた。

奈良文化財研究所（奈良市）の広瀬覚主任研究員は、4世紀後半に築造された大元古墳（益田市遠田町、国史跡）とスクモ塚古墳の埴輪の比較から、スクモ塚の築造時期は、定説より古い4世紀後半とみられるとした。

市教委は本年度調査を11月下旬まで行い、同月中に一般対象の現地説明会を開く予定。（中山竜一）

出雲市

オンライン手話通訳開始

コロナ対応 利便性向上図る

新型コロナウイスルの感染拡大を受け、出雲市がオンラインでの手話通訳サービスを始める。耳が不自由な人が医療機関を受診する際、通訳が付き添って意思疎通の手助けをしているが、PCR検査受診時といった同行が難しい事案も想定されるため。医療機関受診のほか、買い物などでの利用も想定し、利便性の向上を図る。

出雲市には、手話を主な意思疎通の手段とする人が約60人、手話通訳者、市が講座を開いて養成している手話奉仕員ら支援者が約130人いる。

オンラインでのサービスは、利用者が市に連絡先などを登録し、日時と要件を予約。無料通信アプリ・LINE（ライン）などのビデオ通話で支援を受ける。

2019年度は医療機関受診や買い物、地区行事などに919件の通訳派遣があった。20年度は、前年同期に比べ医療機関受診での件数は大きく変わらないものの、全体の件

減少しており、
影響があるとみ

従来通り利用
て行う通訳支援
手厚い支援を行
日の市長会見で
よるデモンスト
があり、長岡秀
自由なく暮らせ
くりたい」と話

このほか、県
は既に医療機関
モート通訳を

医師役の職員（右）が話した内容を手話で利
伝える画面内の手話通訳者

感染 差別なくすには

羽須美中生 人権考える授業

邑南

差別や偏見をなくすために自分たちができることを話し合う生徒

新型コロナウイルスの感染者やその家族の人権を考える授業が20日、邑南町阿須那の町立羽須美中学校であった。1～3年生28人が、感染症に関する正しい知識を身に付けることが差別や偏見のない地域をつくることになると確認した。

授業では2年生が、感染者が出ると、ウイルスに対する不安や恐れが差別や偏見を生み、社会的な信頼関係やつながりを壊すと指摘した。

その後、五つのグループに分かれ「身近な人が感染したらどうするか」「感染しても安心して過ごすために自分ができること」をテーマに議論した

きることでは
を責めない」
惑わされない」
た。

2年生が総合
時間で新型コロ
別や偏見を学
授業を企画した
を他学年と共有
三上生暉さん（
が起きないよう
校生活でも気を
と話した。

津和野の建

県が指名

県が20日、建
組（同県津和野
から2週間の
にしたと発表
栗栖組が請
野町内の農地
で6月、下請

【安来】19日
【松江】19日
20日
【雲南】20日
【奥出雲】19日
【出雲】19日
20日
【大田】17日
【浜田】19日

島根
shimane

本社 編集局 TEL0852(32)3320
出雲総局 TEL0853(21)0019
雲南支局 TEL0854(42)0062
安来支局 TEL0854(22)2069
隠岐支局 TEL08512(2)0356
ひらた通信部 TEL0853(27)9941